

案内

- 礼拝堂は、神に礼拝を捧げるための神聖な場所です。堂内では、私語を慎み、静粛を保つよう心がけて下さい。
- 飲食物の持ち込みは禁止です。携帯電話の電源は必ず切ってください。礼拝堂内では脱帽して下さい。
- 礼拝の中で、「祈祷」の時には、目を閉じ、手を組み、頭を垂れ、祈りにふさわしい姿勢を取り、祈る人の言葉に集中して下さい。
- 礼拝とは、前奏、讃美歌、聖書朗読、説教、祈り、後奏までを含んだものを言います。説教が終わったとたんに退席するなど、礼拝途中での出入りは慎んで下さい。

東日本大震災の被災地を覚えての祈祷会

被災された方々とそのご家族、復興のために尽力されている方々を覚え、共にお祈りください。

9月11日(水)

青山キャンパス 本部礼拝堂 12時35分～13時5分

相模原キャンパス ウェスレー・チャペル2階 小礼拝堂 12時35分～13時5分

オール青山ハンドベルコンサート

日時 9月23日(月・祝) 開場13時 開演13時30分

場所 高等部PS講堂

教会暦と典礼色

キリスト教には教会暦と呼ばれる固有の暦があります。古くから人々は、時間もまた神が与えてくださったものであることを覚え、教会暦にそった祝祭日を祝うことで、イエス・キリストの生涯を覚えつつライフ・スタイルを整えてきました。この教会暦には象徴となる典礼色も定められています。呼称や期間区分は教会によって多少異なりますが、本学では合同メソジスト教会の教会暦にもとづいて、「待降節」(紫=悔い改め)、「降誕節」(白=栄光・喜び)、「公現節」(緑=恵み・希望・成長)、「受難節」(紫=悔い改め)、「受難日」(赤=血・贖罪)、「陰府下り」(黒)、「復活節」(白=栄光・喜び)、「聖霊降臨週」(赤=火・力)、「神の国節」(緑=恵み・希望・成長)、という周期を用い、聖壇のオルタークロスと礼拝週報の印刷色もこれに合わせています。

前期の大学礼拝は、今週で終了します。後期は、9月24日(火)より開始します。

青山学院大学礼拝週報

2013. 7.22.
No. 16

神の国節第9週

聖書の人々 [15]

「ダビデ」 David

ダビデは古代イスラエル王国の二代目の王です。紀元前1000年頃、国家統一を果たし、エルサレムを首都とし、後代まで偉大な王として評価されています。

少年時代は羊飼いとして働いていましたが、強敵ペリシテ人のゴリ

アトという戦士を倒し名声を得ました(サムエル記上17章)。その後、第一代のサウル王に優る活躍をし、王となった後はその支配を最大限に広げました。

しかし、ダビデは弱さをもち、罪を犯す人間でもありました。バト・シェバ事件はその典型です(サムエル記下11、12章)。ただ、ダビデの優れた点は、自分の過ちに気がついた時に、神の前に心砕かれ、罪を告白したことです。「砕かれた魂」を神は受け入れてくださいます(詩編51編参照)。



今年度主題聖句

人にしてもらいたいと思うことは何でも、

あなたがたも人にしなさい。

(マタイによる福音書 第7章12節)